テーマは広く、より深く

特集 ワイド

# 警備業「健康経営」対談

経済産業省と日本健康会議が認定する「健康経営優良法人認定制度」。その中の中小規模法人部門で、特に優れた取り組みを行う上位500社に「プライト500」の認定が与えられる。今回、対談を行った山口遥子さんが会長を務めるリライアンス・セキュリティーは22～26年の5年連続で認定を取得している。

## 経営者が「警備員を守る」

■取り組みのきっかけは

大神（司会）　警備業は平均年齢の高い方が多く働いている業界です。だからこそ健康経営をうまく取り入れることは大切です。山口会長が健康経営に取り組まれるきっかけは？


山口遥子さん

山口　私は1986年に当社「建物管理保障」の経営を継いだ時、社員は50人ほどでした。それから10年ほどして社員が増える中、工場の受け持ちをしている警備員の病気が判明しました。幸い、人にうつらない「非結核性」でしたが、もし取引先や仲間にうつる病気だったら大変でした。翌年は糖尿病の社員に「ぼうこうがん」が見つかりました。2人とも、さかのぼると2、3年前から健康診断で異常が出ていたのです。健診の結果を渡した後の健康管理、再検査受診は本人だけに任せていては不十分だと気が付きました。

大神　どのようなことから始めましたか。

山口　産業医に、健診結果に「丸印」を付けてもらいました。結果が重症の人は大きな丸を、やや心配のリスクの人には小さな丸を。シンプルです。あと、社内で「衛生委員会だより」を熱中症や健診の時期に合わせて発行するようにしました。インフルエンザの予防接種は毎年に大切であり、会社負担にしたのです。

大神　田中社長が取り組まれたきっかけは？

田中　当社「リライアンス・セキュリティー」は2000年に創業し、現在の従業員は260人です。創業以来、熱心に警備員教育に注力してきましたが、健康経営に着手する転機は隊員の熱中症でした。

「しっかり水分補給してください」と呼びかけてはいましたが、警備の日に当直明けの睡眠不足の隊員が熱中症で倒れました。私も救急車に同乗し、集中治療室の検査で「命だけは助かってほしい」と祈りました。経営者として社員の健康を深く考えるようになりました。

さらに2020年にコロナ禍に直面しました。警備員は現場でお客さまを守っています。その警備員を守るのは会社なのです。当時、社員のためにマスクを3万枚用意し、警備業界初の1時金を支給しました。冷凍食品を社員の家庭に届けて、買い物による外出をなるべく控えてもらいました。

結果として、社員は一人も辞めず、仕事も減らなかった。今は福利厚生として希望する社員に「異変があれば駆けつける見守りサービス」を持たせています。

■トップの行動は有効

大神　特に苦労したことは？

山口　禁煙です。09年に取り組みを始めましたが、当時の社内喫煙率は7割。その後、少しずつ段階的に社内の禁煙エリアを広げました。社用車では禁煙、敷地内では一部緩和、それ以外は全面禁煙にしました。11年かかりました。

突破口は、テレビ局から「禁煙外来に通う社員を取材したい」と頼まれた時です。弊社の吉田興太社長が「取材を引き受けてくれて、きっぱりとタバコをやめてくれたのです。タバコをやめる方がよい理由を個人ごとに社内に広めました。

年1回の現在数値のレポートの際に「吸っている・やめた」の順に「どのように働いてもらうか」を考えるためのもの。そのうえで「今日も明日も同じように働けるようになりたい」と言い続けてきました。

大神　お二人の考えの根本には何がありますか。

山口　私も、普通の企業としてより多くの方々に「身内を就職させたい」と思っていただける会社にしたい、と取り組んできました。警備業界に入ってから30年、社員のレベルは格段に高まったと感じます。

社員がいないと会社は成り立たない。だから社員を会社が守る。そこに尽きます。

大神　健康経営はトップダウンと言い続けてきましたが、「これはあなたのため」という信念は揺るぎません。

田中　キーワードが出ました、「信念」です。経営上の信念とは、ぶれないこと。当社の理念・方針は「お客さま主義集団」です。警備は労働集約型産業で、人材が命。現場で警備員がお客さまを守り、その警備員の健康と命を守るのは会社の責任。全部がつながっている一体感だから、簡単には続ける。いずれ息子に会社のバトンを渡すまで敢然に信念を貫きます。

大神　お二人の考えの根本には何がありますか。

山口　私も一人では何もできなかったと思う。私の考えについてきてくれる社員がいたからです。今の吉田興太社長と社田会って5年、前任と組みなことを言わなくても大丈夫になるまでに10年かかりました。当社は1000人規模だからスローガンではなく、信念だから、簡単には続ける。いずれ息子に会社のバトンを渡すまで敢然に信念を貫きます。

大神　お二人の考えの根本には何がありますか。

山口　キーワードが出ました、「信念」です。経営上の信念とは、ぶれないこと。当社の理念・方針は「お客さま主義集団」です。警備は労働集約型産業で、人材が命。現場で警備員がお客さまを守り、その警備員の健康と命を守るのは会社の責任。全部がつながっている一体感だから、簡単には続ける。いずれ息子に会社のバトンを渡すまで敢然に信念を貫きます。

大神　お二人の考えの根本には何がありますか。

山口　私も、普通の企業としてより多くの方々に「身内を就職させたい」と思っていただける会社にしたい、と取り組んできました。警備業界に入ってから30年、社員のレベルは格段に高まったと感じます。

社員がいないと会社は成り立たない。だから社員を会社が守る。そこに尽きます。

大神　健康経営はトップダウンと言い続けてきましたが、「これはあなたのため」という信念は揺るぎません。

田中